

A1-10 如何安慰對方

【阿K U パワーポイントに失敗する】

A：阿K U B：友達

A：あ、阿杰、授業終わったの？

B：うん、今終わったところ。阿K Uは？

A：僕も。

B：そう。あ、授業といえば、この間のパワーポイントの発表どうだった？

A：あ、あの時はありがとう。実は、今日発表だったんだけど、学校のコンピューターの調子が悪くて、上手くできなかつたんだ。せつかく手伝ってもらったのに。

B：ああ、それは残念だったね。実は、僕も以前同じことがあって、本当に落ち込んだことがあったよ。阿K Uのせいじゃないから、元気をだして。

人生在世，不如人意者十之八九，所以當朋友面對不如意或不幸遭遇時，如能適時給予安慰，肯定能夠增加彼此關係，建立深厚友誼。然而，安慰別人是一門學問，難度頗高。

日語中會如前述文中，先以「ああ、それは残念だったね」來表示同情，接著再以「実は、僕も以前同じことがあって、本当に落ち込んだことがあったよ」提出共同經驗，並用「阿K Uのせいじゃないから、元気をだして」強調問題不在對方，鼓勵對方振作起來。換言之，先表示同情，並採用同理心訴說自己也曾有類似的不幸遭遇，藉此換取對方的認同感，以減輕當事人的悲傷，避免冷淡或否定對方的話語。較常見的表示同情話語如：「それはたいへんだったね」。